

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Pa(教室)NEO (多職種等サービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		~ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 47	(回答者数) 8	
○従業者評価実施期間	令和7年2月24日		~ 令和7年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数) 4	
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		~ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富なスタッフが多数在籍しているため、子どもの特性やニーズに応じた専門性のある支援に向ける。1人1人の性格や支援の方法を見出して保護者の方の理解を深め、かつ子どもの向き合い支援が適切に行われる準備を行う。	週に1回、ミーティングを開き、個別や集団での共有を行う。フィードバックなどの保護者への対応を話し、解決策を探る。また、解決策が実施できず、スタッフ間の連携を強化する必要がある場合に行う。	個別や集団の中で、成長を促すような環境づくりを行い、その中で共有できる場を作り、その成長を共有できるような場を増やす。
2	子どもの「やりたい」を実現できるように取り組むを行う。	本人の趣味を大事にする。興味のあることを家や学校でできることを実現できるように取り組む。また、そのための支援を行う。	完成品や物をイメージし、本人の意見を聞き取り、制作や体験を実現させる。本人のペースに満足できるように取り組むを行う。
3	職業体験を実施し、将来に向けた準備を支援を行う。	将来に向けた仕事を体験できるように取り、自分の興味のある仕事や向きの仕事に合わせた時間を設ける。	事業所内でできるイベントや接客体験などを行い、内容を固める。また、アンケートを通じてその経験から学びを取り入れる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対して納得感や満足感が低く、フィードバックの時間も少ない。	支援の内容がわかりやすく、伝わるように増やす。また、何を伝えたいかを理解できるようにする。	支援計画の内容を保護者と共有し、必要に応じて支援を再確認し、重点を置く。フィードバックの時間を保護者から求めたい旨を伝える。また、ミーティングの場を共有時間を増やす。
2	保護者同士の交流が不足している。	時間が取れず、参加人数が少ない。アンケートや要望などに関する取り組みを強化する。	4月中旬アンケートを取り、その結果を事業所内で開き、要望を増やす。場をまた多く設け、その場を作り、交流を増やす取り組みを行う。
3	部屋が狭く、個別の内容やフィードバック時の会話も難しい。また、連絡の意思が伝わりづらい。	フィードバック時は、少し離れた場所で行う。また、環境を整えていく。	個別を促すような場を増やす。また、子どもや保護者へ安心して通える場を作る。